

## 会 議 録

会議の名称	第1回茨木市生涯学習施策推進委員会
開催日時	令和3年7月2日(金) (午前・ <b>午後</b> 2時00分 開会) (午前・ <b>午後</b> 4時00分 閉会)
開催場所	茨木市立生涯学習センター 研修室304号
委員長	今西 幸蔵 委員長
出席者	【委員】 今西委員長、安藤委員、井上委員、内山委員、落合委員、木村委員、 桑本委員、佐野委員、式田委員、高尾委員、野崎委員、三輪委員、 森委員、矢野委員、山田委員  ＜以上、15名＞
欠席者	【0人】
事務局職員	福岡市長、上田市民文化部長、今西文化振興課長、地頭江文化振興課参事、 新谷文化振興課主幹  【5人】
開催形態	公開
議題(案件)	1 開会 2 出席者の紹介 3 委員長・職務代理の選出 4 議事の公開 5 茨木市生涯学習推進計画(案)諮問 6 茨木市生涯学習推進計画(案)について 7 その他 8 閉会
配布資料	1 会議次第 2 (仮称)茨木市生涯学習推進計画素案(令和3年3月) 3 生涯学習関連施策体系別事業 令和元年(2020年)度事業調べ 4 茨木市生涯学習に関する調査分析報告書(平成31年3月) 5 茨木市生涯学習推進計画(平成10年7月 策定)
傍聴人	1人

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<b>1 開会</b>
今西課長	ただ今より、茨木市生涯学習施策推進委員会を開催する。 開会にあたり、福岡市長からごあいさつを申し上げます。
福岡市長	<b>【市長あいさつ】</b>
	<b>2 出席者の紹介</b>
今西課長	これより第1回委員会に入る。 なお、委員会は、委員長のもとで開催され進行されることとなるが、委員長が決まるまで僭越ではあるが、私が進行役を務めさせていただく。  (各委員を順次紹介) (市の出席者を順次紹介)
	<b>3 委員長・職務代理の選出</b>
今西課長	当委員会の委員長の選出に移る。選出については、委員会規則第5条第1項により、委員の互選により定めることとなっている。 まず、委員長の選出をお願いしたいが、いかがか。
高尾委員	委員長には、学識経験者であり、今まで茨木市の人権尊重のまちづくり審議会や社会教育委員の会議などに参加され、生涯学習に関して専門的な知識と経験を持っておられる今西委員に委員長をお願いしたい。
今西課長	委員長に今西委員をとのご発言があったが、そのように決定させていただいてもよいか。
各委員	<b>【意義なしの声】</b>
今西課長	ご異議がないので、全員一致ということで、当委員会の委員長は、今西委員に決定する。  <b>【今西委員、委員長席へ移動】</b>
今西課長	続いて委員長の職務を代理いただく方を、今西委員長にご指名いただきたい。
今西委員長	委員長の職務を代理いただく方は、佛教大学の内山委員に職務代理をお

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>願いたいと思うが、いかがか。</p>
各委員	【異議なしの声】
内山委員	【内山委員了承】
今西課長	委員長の職務を代理いただく方は、内山委員に決定する。 委員長就任のご挨拶をお願いします。
今西委員長	【委員長あいさつ】
今西課長	これからの議事は、委員会規則第6条第1項の規定により、今西委員長 にお願いします。
今西委員長	会議次第に沿って議事を進める。
	<b>4 議事の公開</b>
今西委員長	まず、議事の公開についてお諮りしたいと思う。事務局から説明をお願いします。
地頭江参事	【議事公開の説明】
今西委員長	今後、特に非公開とすべき案件が発生した場合には、会議の非公開を決定 とすることとして対処させていただく。それまでは、原則に基づき会議 を公開し、資料も傍聴者への閲覧、配付を許し、会議録については、市の ホームページに公表する。 また、会議録に表記される発言者の氏名も公表してまいりたいと思うが、 ご異議ないか。
各委員	【異議なしの声】
今西委員長	それでは、本委員会は公開にする。傍聴者にも資料を配布願いたい。  【傍聴者に資料を配布】
	<b>5 茨木市生涯学習推進計画（案）諮問</b>
今西委員長	茨木市生涯学習施策推進委員会規則第2条の規定により、福岡市長より

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>茨木市生涯学習推進計画（案）について諮問をお受けする。</p> <p>【市長から委員長へ茨木市生涯学習推進計画（案）の諮問書を手交】</p>
今西課長	<p>ここで、公務の都合上、市長は退席させていただく。</p> <p>【市長退席】</p>
今西委員長	<p>それでは、福岡市長より諮問のあった茨木市生涯学習推進計画（案）について、今後当委員会において審議していく。</p>
	<p><b>6 茨木市生涯学習推進計画（案）について</b></p>
今西委員長	<p>茨木市生涯学習推進計画（案）について、事務局より説明を求める。</p>
地頭江参事	<p>【(仮称) 茨木市生涯学習推進計画素案について】</p>
山田委員	<p>生涯学習関連施策体系別事業について、図書館、博物館などの関連施設が多くあるが、それらを一覧・マップ化し、各施設の特色などが記載すれば、市民に分かりやすいものとなるのではないかと思う。</p>
地頭江参事	<p>参考にし、今後検討する。</p>
山田委員	<p>コロナの関係で、オンラインの講座の検討をお願いしたい。</p>
地頭江参事	<p>今後の方向性として検討する。</p>
内山委員	<p>私が素晴らしいと思ったことは、庁内の検討委員会で素案を作成されたということだ。</p> <p>素案の中身については、新しい言葉として、「学びづくり」がある。「人づくり」、「まちづくり」という言葉は聞くことがあるが、「学びづくり」という言葉をあまり聞いたことがなく、大変よい言葉だと感じた。</p>
今西委員長	<p>私は、庁内の19課で検討されたことは、非常に大きな意味があると思う。市民レベルの意識としては、生涯学習は社会教育と一緒だと思う方が多くいる。生涯学習というのは教育領域だけではない。19課というのは、茨木市の数字だが、色々な部局が市民生活の向上やまちづくりをめざし、学び</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
落合委員	<p>の場を作るというところに意味がある。とても高く評価しなければいけないのではないかと思う。</p> <p>茨木市では、総合計画ができた。総合計画はどのまちも作っているが、特に茨木市の優れている点は、SDGsを取り上げたことである。これはおそらく総合計画としては日本で最初だと思う。そのもとに我々が議論しようとしているこの計画があることについて、とても意義深いことだと思っている。</p> <p>第4章で「みんなの”楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木」という標語が掲げられている。30 ページに掲載されている、第5次茨木市総合計画の文章を見ると、まちの将来像3の中で「みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち」とある。「みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち」の少しブレイクダウンしたところに「みんなの”楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木」という置き方に見えてしまう。生涯学習は非常に幅広い概念を含んでくるところなので、第5次茨木市総合計画との関係でいうと、この標語の「みんなの”楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木」という言い方が逆に狭くとらえられてしまうようなことになっているのではないかと気になる。</p>
今西委員長	<p>「みんなの”楽しい”が見つかる 生涯学習のまち 茨木」という、この精神は変わらないものとして、別のコピーを作っていくことをこの委員会でできればよいと思う。</p>
野崎委員	<p>19 ページの社会の動向の(ウ)の「障害者活躍推進プラン」において、国は特別支援学校を卒業した障がいのある若い世代が、継続的に学び続けられる機会が限られているという現状を示している。本市において、そのあたりの状況がどのようになっているか教えていただきたい。</p> <p>12 ページの市の現状の(エ)の家庭教育に関する講座において、家庭教育支援という施策は子育て支援の事業に位置付けられると思うが、社会の動向と市の現状から見える課題の6つの柱立ての中で、家庭教育支援、子育て支援、もしくは若い世代への結婚のマッチングの支援などは、どこに位置づけられているのか。</p>
地頭江参事	<p>障がいのある人が教育やスポーツ、文化等の様々な生涯学習を行うことができる取組については、「学びづくりへの取組」内で方向性を示しているが、具体的な取組は今後の課題と捉えている。</p> <p>子育て支援については、25 ページの「学びづくり」に含まれる。具体的</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	な取組は位置付けられていないが、働く世代や子育て世代の方が、参加しやすい学習機会の提供に努めていく。
木村委員	<p>教育は、日本語で教え育むということ。エデュケーションの語源は個性を引き出すということで、これが日本語で教育と訳された。だから、教え育むということは非常によいが、より自分の持つ個性を引き出すことが本当の教育である。</p> <p>生涯学習と聞くと、これからも勉強をしていかなければならないと思ってしまう。一生勉強しなさいといわれると、嫌だなという感じがする。そのあたりのニュアンスが、茨木の生涯学習はもっと楽しいものということが伝わればよい。</p>
地頭江参事	<p>1 ページの「生涯学習とは」の中で、生涯学習は辛いものではなく、様々な楽しい側面があることも含め、全てが学習であるということを伝えたい。その他別の伝え方もあるかと思うので、アイデアをいただければと思う。</p>
今西委員長	<p>人間が楽しく、元気に賢く学ぶといった意味合いが深く込められていることは、ご理解いただければと思う。</p>
井上委員	<p>ここ数年で e スポーツが出てきた。私くらいの世代になると、この類はゲームセンターのように思え、教育とは真逆にあるようなものだと思うが、今は世界的なスポーツになっている。現在、教育の一環として認められている e スポーツや職業として認識されている Youtuber 等を生涯学習に分類してもよいかも考えていければと思う。</p>
今西委員長	<p>e スポーツは非常に大きな柱として、子ども体験学習の中に生涯学習として位置づけられている。</p>
森委員	<p>素案の 3 章の中に、「IV 多様性を尊重し、誰一人取り残さない生涯学習推進」とある。視覚障がい者が、これを読みたいとなったときは音声データを起こすと思う。その際に、例えば注釈の「※キャリア形成」という言葉を読んだ後に、「なりたい自分を掲げ、それを叶えるためのプロセスのこと」と読み上げるようなシステムになっているのか。</p>
地頭江参事	<p>表記方法について、検討する。</p>
三輪委員	<p>各自治会では、まちづくりに取り組んでいるが、地域によっては温度差</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
安藤委員	<p>がある。学習する場である施設やその施設の利用頻度等は、その地域特有の事情がある。地域の様々な事情がある中で、この生涯学習の場をこれからどのように進めるかが1つのテーマになると思う。どのように具体化していくか、そのためにどのようなことができるか、まちづくりを進めていく中で生涯学習を関連付けていくことも重要だと思っている。</p> <p>23 ページの学びづくりに記載されている「成人力」という言葉は、当たり前に使われているものなのか。生涯学習は、大人や高齢者のものという印象を受ける。目指すべき姿にある「人生 100 年時代」という言葉は、リタイア世代を想像する。成人力の向上となると、自己実現はもっと小さい頃から成熟させていくと思うが、何となく大人の計画というイメージである。学びづくりの取組の中では、「誰もが学びの機会を持って、自己実現を目指す」と記載があるため、すべての人を対象としているのは分かるが、成人力の向上というやはり大人の印象がある。</p> <p>社会福祉協議会では、「茨木市 ボランティア」でインターネット検索すると、茨木市社会福祉協議会のボランティアセンターが一番に上がってくるため、ボランティア登録をする人が多くいる。</p> <p>また、社会福祉協議会は、小学校、中学校、高校生を対象に、福祉教育という福祉体験の授業などを実施しているため、生涯学習の推進の目指すべき姿に重なっていると思う。今後、社会福祉協議会がどのように協働すればよいか、より深めていきたいと思う。</p>
内山委員	<p>生涯学習は、福祉やまちづくりという大きなまちの計画に位置づけられる部分があるため、まちづくりに関する学びが必要である。また、社会問題を解決するための学びなども含めると、生涯学習は非常に大きな概念を持っていると思う。この素案の中で、どのように「みんなの”楽しい”が見つかる生涯学習のまち 茨木」というところに落とし込んでいくのか、総合計画とは別に、この生涯学習の計画案をどのように作っていくのか、そのグランドデザイン、イメージというのは、皆さんで考えていくところだと思っている。</p>
今西委員長	<p>成人力の言葉自身が難しい。茨木は全国屈指の大学のまちである。各大学の持つ知識やスキルを活用して、住民が職業能力等を高めることができる全国屈指のまちだと思う。そのようなことがつながる意味で、成人力を捉えていただいたら、もう少し意味がわかると思う。</p>
野崎委員	<p>小学校や中学校の子どもたちのところがあまり書かれていない。例えば、</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
式田委員	<p>「ふるさと茨木を愛する子どもたちの育成」という部分で、住み続けたい茨木や、子どもたちの根っこを育むところは学校外でもされていると思う。現時点において、茨木に対する愛着や愛情、ふるさと意識などを育む取り組みが分かればよい。</p> <p>川端康成の生誕の地であるということで、茨木市は「教育のまち」という考え方がある。地場産業等では、小学校各学年において、地域の特産品や様々な団体と連携し取組を実施している。給食では、見山の郷の味噌を使用し、食育の分野より地域を意識した教育を育んでいる。市内企業のことに関しては、税務署の方から5年生、6年生あたりで学びにつなげていただいている。</p>
高尾委員	<p>若い人から年寄りまで対象は一応記載されているが、施設の利用者や講座の受講生はお年寄りの方が多い。若い人はコミュニティセンターや公民館講座にも来ない。自治会もまちづくりに関連しているが、いかに地域の方に参加してもらうか。ここで皆さんに教えていただきながら、どのようにすれば参加してくれるか、何をすればよいのかを考えていきたい。</p> <p>コロナ禍において、現場が課題に思っていることは、どのように地域活動を復活、活発化させるかということである。やはり、人間は顔や目を見ながらコミュニケーションを取ることが必要である。生活スタイルは変化しているが、それをいかにこなしていくかがこれからの課題であり、非常に悩むところである。</p>
桑本委員	<p>庁内検討会にて計画の素案を策定していただいた19課は、具体的にどのような課なのか。また、総合計画の具体的な内容がわからないので、簡単に説明をしていただきたい。</p>
地頭江参事	<p>19課は、危機管理課、政策企画課長、市民協働推進課、文化振興課、スポーツ推進課、人権・男女共生課、障害福祉課、長寿介護課、こども政策課、子育て支援課、商工労政課、農林課、環境政策課、都市政策課、北部整備推進課、社会教育振興課、歴史文化財課、中央図書館、学校教育推進課である。</p> <p>本市の総合計画は、6つのまちの将来像とまちづくりを進めるための基盤で構成されている。生涯学習は、まちの将来像3「みんなの”楽しい”が見つかる文化のまち」に位置付けられ、この将来像3を具体化する施策として、施策1「生涯学習の機会を増やし情報提供を充実する」があり、その取組として「生涯学習推進体制の整備」、「生涯学習についての普及啓</p>



## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員長	<p>発の推進」、「成人教育の推進」、「公民館活動の推進」、「図書館サービスの充実」がある。</p> <p>よろしいでしょうか。時間がきていますので、次に移ります。</p>
地頭江参事	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">7 その他</p> <p>連絡事項が2点ある。</p> <p>1点目は、7月21日までに計画案の意見提出をお願いします。</p> <p>2点目は、次回の会議開催日は8月下旬を予定している。別途日程調整の依頼を行うため、回答をお願いしたい。</p>
今西委員長	<p>時間がまいりましたので、これをもちまして本日の議事を終了させていただきます。ありがとうございました。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">8 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>